

DVDメディアの特徴と選び方

メディア	特徴
DVD-R	1回だけ記録できるDVDディスク。書き換えはできませんが、ほとんどすべてのDVD機器で読み込める高い再生互換性があります。
DVD-RW	約1000回の書き換えが可能。DVDフォーラム準拠の規格で最近のDVD機器なら、ほぼ対応しています。ただしDVD-Rと比べると、価格は高めで、書込みスピードは遅め。
DVD+R	1回だけ記録できるDVDディスク。DVD機器との相性もよく、グローバルな普及率も高い。書込みスピードも高速です。
DVD+RW	約1000回の書き換えが可能。DVD-RWと比べてフォーマットの待ち時間が短く、書込みスピードが高速。DVD+VRフォーマット対応で、保存したビデオの追記・編集ができます。
DVD-RAM	約10万回の書き換えが可能。しかも、FDやMOディスクのようにマウスでドラック&ドロップでファイルの出し入れができます。記録容量も両面書込みなら9.4GBと大容量です。
DVD+R DL (ダブルレイヤー)	1回の書き込みが可能。ふたつの記録層を活用しているためダブルレイヤーとも呼ばれます。最大記録容量は8.5GBと大きく、映像なら約3.6時間までの記録に対応。
DVD-R DL (デュアルレイヤー)	1科のみの書込みが可能。DVD-Rの2層規格で、最大記録容量は8.5GB。